

2009年度統計関連学会連合大会

平成18年社会生活基本調査 生活行動の「その他」項目の集計結果と 同項目の記入状況に関する分析について

総務省統計局
永井恵子、野口真由、佐藤朋彦

1

2009年度統計関連学会連合大会

目 次

- 1 はじめに
- 2 平成18年社会生活基本調査の概要
- 3 生活行動の「その他」項目集計
- 4 集計結果の主な特徴
- 5 集計結果から得られた新たな課題
- 6 おわりに

2

1 はじめに

この報告のポイントは、

「平成18年社会生活基本調査」のデータを用いて

- 本体集計のフォローアップの取組みとして
「スポーツ」及び「趣味・娯楽」のその他項目から新たな種目等の状況を紹介
- 「その他」に回答した者の属性及び傾向等を分析した結果から明らかになった当該項目の調査方法等に関する新たな課題を提示

※社会生活基本調査は、生活時間及び生活行動を把握する調査で、昭和51年（1976年）より5年周期で実施

3

2 平成18年社会生活基本調査の概要

(1) 調査日

- 生活時間は、平成18年10月14日から10月22日までのうち連続する2日
- 生活行動は、平成18年10月20日現在、過去1年間

(2) 標本数

約8万世帯、10歳以上の世帯員約20万人

(3) 生活時間の調査票の種類

プリコード方式による調査票A（約7万6千世帯）

アフターコード方式による調査票B（約4千世帯）

4

2 平成18年社会生活基本調査の概要

(4) 主な調査事項

①世帯員に関する事項

- ア すべての世帯員に関する事項
年齢、世帯主との続柄、在学状況など
- イ 10歳以上の世帯員に関する事項
生活行動、生活時間の配分、
男女の別、配偶の関係、介護の状況など
- ウ 15歳以上の世帯員に関する事項
就業状態、1週間の就業時間など
- エ 60歳以上の世帯員に関する事項
子の住居の所在地

②世帯に関する事項

世帯の年間収入、介護支援の利用の状況など

5

3 生活行動の「その他」項目集計

(1) 集計に用いた調査票

- スポーツの固定項目数は、21項目

05

2| スポーツについて
 ・単に見物している場合や授業・研修として行うものは除きます
 ・クラブ活動や部活動は含めます

(2)この1年間に何日くらいしましたか
 (右の1~7の数字で記入)

1: 1~4日	2: 5~9日	3: 10~19日 (月に1日)
4: 20~39日 (月に2~3日)	5: 40~99日 (月に1日)	6: 100~199日 (月に2~3日)
7: 200日以上 (月に4日以上)		

(1)どのようなスポーツをしましたか		(1)この1年間に何日くらいしましたか	
しりました	しませんでした	しりました	しませんでした
野球 (キャッチボールを含む)	<input type="radio"/>	卓球	<input type="radio"/>
ソフトボール	<input type="radio"/>	テニス	<input type="radio"/>
バレーボール	<input type="radio"/>	バドミントン	<input type="radio"/>
バスケットボール	<input type="radio"/>	ゴルフ (練習場を含む)	<input type="radio"/>
サッカー	<input type="radio"/>	業道	<input type="radio"/>
		剣道	<input type="radio"/>
		ゲートボール	<input type="radio"/>
		ボウリング	<input type="radio"/>
		つり	<input type="radio"/>
		水泳	<input type="radio"/>
		スキー・スノーボード	<input type="radio"/>
		登山・ハイキング	<input type="radio"/>
		サイクリング	<input type="radio"/>
		ジョギング・マラソン	<input type="radio"/>
		ウォーキング・軽い体操	<input type="radio"/>
		器具を使ったトレーニング	<input type="radio"/>
		その他のスポーツ (1年間にしたスポーツについて記入してください)	<input type="radio"/>

6

3 生活行動の「その他」項目集計

(1) 集計に用いた調査票

- 趣味・娯楽の固定項目数は、**33項目**

22 趣味・娯楽について
 ・ 授業・仕事及び家事として行うものは除きます
 ・ クラブ活動や部活動は含めます

(2) この1年間に何日ぐらいしましたか
 (右の1~7の数字で記入)

1: 1~4日	2: 5~9日	3: 10~19日 (月に1日)
4: 20~39日 (月に2~3日)	5: 40~99日 (週に1日)	6: 100~199日 (週に2~3日)
		7: 200日以上 (週に4日以上)

(1) どのようなことをしましたか

つづき	つづき	つづき
楽器の演奏	編み物・手芸	囲碁
邦楽	趣味としての料理・菓子作り	将棋
コーラス・声楽	園芸・庭いじり・ガーデニング	パチンコ
邦舞・おどり	日曜大工	カラオケ
洋舞・社交ダンス	絵画・彫刻の制作	テレビゲーム/パソコンゲーム
書道	陶芸・工芸	遊園地・動物園・水族館などの見物
華道	写真の撮影・プリント	キャンプ
茶道	詩・和歌・俳句・小説などの創作	その他の趣味・娯楽
和裁・洋裁	趣味としての読書	

その他の趣味・娯楽
 (1年間にした趣味・娯楽について記入してください)

3 生活行動の「その他」項目集計

(2) 集計方法

① 集計用データの作成

- 「その他」に回答のあったデータのうち、フリー記入欄に回答のあったデータの抜き出し

(その他に回答) (さらにフリー記入欄に記述)

スポーツ: 13,293人 → 11,389人
 趣味・娯楽: 17,134人 → 12,609人

- フリー記入欄の回答のうち、記載状況の違いなどの類似項目のとりまとめ

(単純集計) (類似項目とりまとめ)

スポーツ: 984項目 → 334項目
 趣味・娯楽: 3,350項目 → 632項目

3 生活行動の「その他」項目集計

(2) 集計方法

②集計

ア 記入頻度

- フリー記入欄に回答のあった項目ごとにその回数を集計（複数回答含む）

イ 行動者数

- 地域、男女、年齢階級ごとに集計用乗率を用いて全国の行動者数を推計

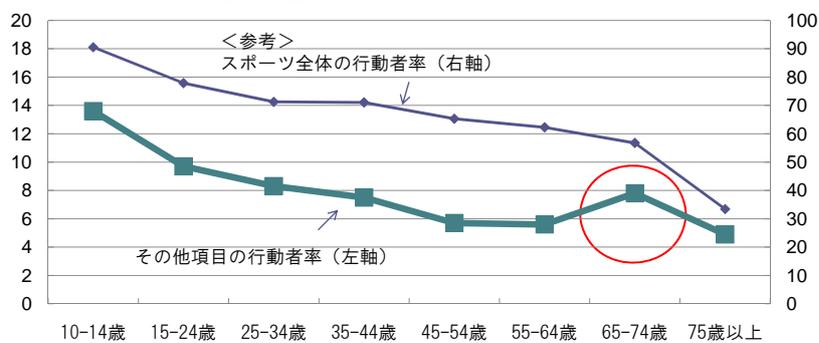
4 集計結果の主な特徴

(1) 「その他のスポーツ」の行動者数及び行動者率

①年齢階級別

- 10～14歳が最も高く、年齢が高くなるにつれて低くなるが、65～74歳でやや高い

年齢階級別「その他」項目の行動者率 (単位：%)



4 集計結果の主な特徴

(1) 「その他のスポーツ」の行動者数及び行動者率

②男女別

- 男性では、
「グラウンドゴルフ」、
「サーフィン」、
「空手」の順に多い

フリー記入欄におけるスポーツの
行動者数上位10項目（男）

	項目	行動者数 (千人)	行動者率 (%)
1	グラウンドゴルフ	408	0.7
2	サーフィン	216	0.4
3	空手	210	0.4
4	パークゴルフ	178	0.3
5	ラグビー	113	0.2
6	フットサル	91	0.2
7	弓道	77	0.1
8	ウォーキング	76	0.1
9	ドッジボール	70	0.1
10	ハンドボール	68	0.1

11

4 集計結果の主な特徴

(1) 「その他のスポーツ」の行動者数及び行動者率

②男女別

- 女性では、
「ヨーガ」、
「エアロビクス」、
「グラウンドゴルフ」
の順に多い

フリー記入欄におけるスポーツの
行動者数上位10項目（女）

	項目	行動者数 (千人)	行動者率 (%)
1	ヨーガ	617	1.1
2	エアロビクス	564	1.0
3	グラウンドゴルフ	385	0.7
4	太極拳	197	0.3
5	ダンス(詳細不明)	178	0.3
6	パークゴルフ	157	0.3
7	軽い体操	143	0.2
8	ウォーキング	118	0.2
9	弓道	92	0.2
10	ドッジボール	88	0.2

12

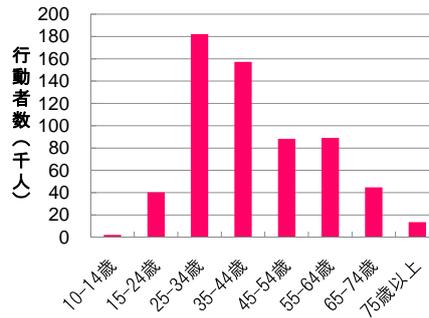
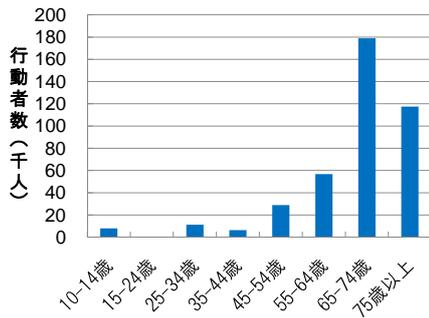
4 集計結果の主な特徴

(1) 「その他のスポーツ」の行動者数及び行動者率

③男女・年齢階級別

●男性では、「グラウンドゴルフ」は65～74歳で最も多い

●女性では、「ヨガ」は25～34歳で最も多い



13

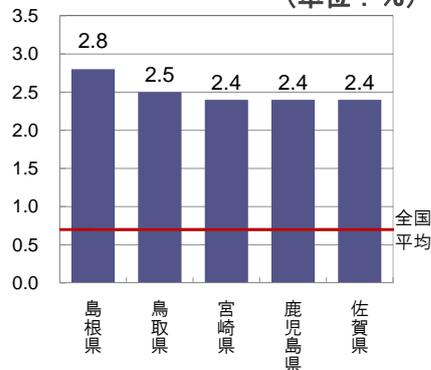
4 集計結果の主な特徴

(1) 「その他のスポーツ」の行動者数及び行動者率

④都道府県別

●「グラウンドゴルフ」の行動者率は、島根県で最も高く、次いで鳥取県で高い

都道府県別行動者率（上位5県）
（単位：％）



* 発祥地は鳥取県東伯郡泊村

14

4 集計結果の主な特徴

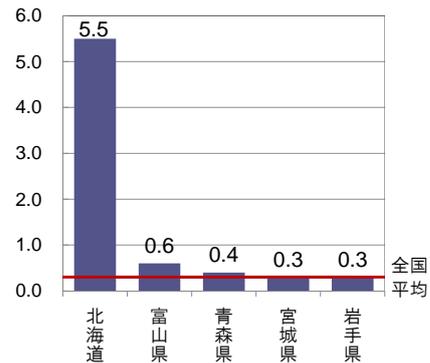
(1) 「その他のスポーツ」の行動者数及び行動者率

④都道府県別

- 「パークゴルフ」は、北海道で突出して高い

* 発祥地は北海道幕別町

都道府県別行動者率（上位5県）
（単位：％）



15

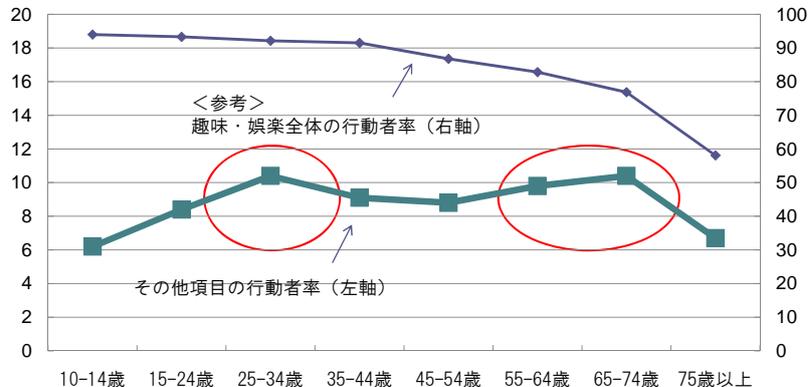
4 集計結果の主な特徴

(2) 「その他の趣味・娯楽」の行動者数及び行動者率

①年齢階級別

- 25～34歳と65～74歳をピークとする二つの山

年齢階級別「その他」項目の行動者率
（単位：％）



16

4 集計結果の主な特徴

(2) 「その他の趣味・娯楽」の行動者数及び行動者率

②男女別

- 男性では、
「ドライブ」、
「麻雀」、
「つり」の順に多い

フリー記入欄における趣味・娯楽の
行動者数上位10項目（男）

	項目	行動者数 (千人)	行動者率 (%)
1	ドライブ	449	0.8
2	麻雀	312	0.6
3	つり	280	0.5
4	オートバイ	280	0.5
5	競馬	240	0.4
6	旅行(詳細不明)	219	0.4
7	バーベキュー	155	0.3
8	プラモデル	98	0.2
9	家庭農園	84	0.2
10	温泉	78	0.1

17

4 集計結果の主な特徴

(2) 「その他の趣味・娯楽」の行動者数及び行動者率

②男女別

- 女性では、
「旅行(詳細不明)」、
「ドライブ」、
「バーベキュー」
の順に多い

フリー記入欄における趣味・娯楽の
行動者数上位10項目（女）

	項目	行動者数 (千人)	行動者率 (%)
1	旅行(詳細不明)	385	0.7
2	ドライブ	283	0.5
3	バーベキュー	200	0.3
4	買い物(詳細不明)	186	0.3
5	温泉	160	0.3
6	ジグソーパズル	85	0.1
7	ガーデニング	83	0.1
8	パズル・クイズ(詳細不明)	80	0.1
9	読書(詳細不明)	76	0.1
10	ビーズ手芸	74	0.1

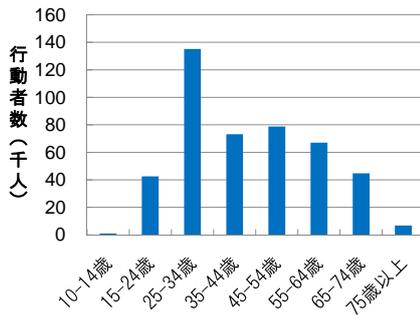
18

4 集計結果の主な特徴

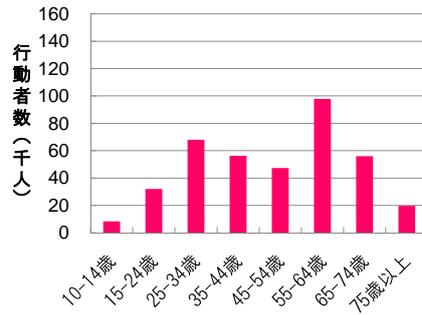
(2) 「その他の趣味・娯楽」の行動者数及び行動者率

③男女・年齢階級別

●男性では、
「ドライブ」は
25～34歳で最も多い



●女性では、
「旅行（詳細不明）」は
55～64歳で最も多い



19

5 集計結果から得られた新たな課題

(1) 固定項目の検討

- 「グラウンドゴルフ」及び「ヨーガ」の行動者率は「柔道」及び「剣道」と同程度
- 「グラウンドゴルフ」などをまとめた「ゴルフ系」の行動者率（1.1%）は「ゲートボール」より高い

➡ 趣味や嗜好の変化

その他項目行動者率上位3項目と固定項目行動者率下位3項目
(スポーツ)

順位	その他項目上位3項目		固定項目下位3項目	
	項目	行動者率 (%)	項目	行動者率 (%)
1	グラウンドゴルフ	0.7	柔道	0.6
2	ヨーガ	0.6	剣道	0.6
3	エアロビクス	0.5	ゲートボール	1.0

H8(1.7%)

↓
H13(1.3%)

20

5 集計結果から得られた新たな課題

(2) 固定項目にありながら、その他項目に回答された項目

- 「スポーツ」では「ウォーキング・軽い体操」など
- 「趣味・娯楽」では「園芸・庭いじり・ガーデニング」など

固定項目該当項目の記入頻度（上位3項目）

（単位：回）

【スポーツ】

調査項目	合計
計	1,789
1 ウォーキング・軽い体操	655
2 器具を使ったトレーニング	190
3 サッカー	146

【趣味・娯楽】

調査項目	合計
計	5,237
1 園芸・庭いじり・ガーデニング	698
2 絵画・彫刻の制作	497
3 編み物・手芸	401

21

5 集計結果から得られた新たな課題

(2) 固定項目にありながら、その他項目に回答された項目

① 高齢層で高い記入頻度

- 「ウォーキング・軽い体操」、「園芸・庭いじり・ガーデニング」など、高齢層で行動者率の高い項目が多い

➡ 固定項目の並び順、項目数の多さによって高齢層では、該当項目をみつけにくいためか？

年齢階級別、その他項目全体の記入頻度に占める固定項目該当項目への記入頻度の割合

（単位：％）

	スポーツ	趣味・娯楽
合計	14.3	35.3
10-14歳	12.4	36.8
15-24歳	12.2	27.2
25-34歳	10.1	19.2
35-44歳	10.0	22.5
45-54歳	14.7	31.7
55-64歳	19.5	42.1
65-74歳	17.7	50.0
75歳以上	17.1	50.7

22

5 集計結果から得られた新たな課題

(2) 固定項目にありながら、その他項目に回答された項目

②趣味・娯楽で高い記入頻度

●趣味・娯楽は固定項目に該当する項目があってもフリー記入欄に回答する傾向が強い

➤ 例えば、「**絵画・彫刻の制作**」に該当するものでも、「**絵手紙**」、「**切り絵**」など具体的な回答が多い

➡ 趣味・娯楽の多様性と回答者自身のこだわりによって、その他項目に記述する傾向？

23

5 集計結果から得られた新たな課題

(3) 「スポーツ」と「趣味・娯楽」の切り分け

「つり」及び「洋舞・ダンス」の行動者数及び行動者率

項目	合計		スポーツ欄		趣味・娯楽欄	
	(千人)	(%)	(千人)	(%)	(千人)	(%)
つり	11,639	(10.2)	11,340	(10.0)	299	(0.3)
洋舞・ダンス	2,388	(2.1)	400	(0.4)	1,988	(1.8)

➡ 回答者の意識の違いによって「スポーツ」か「趣味・娯楽」かに分かれる？

24

6 おわりに

次回（平成23年）社会生活基本調査の実施に向けて、

- 新たに判明した調査方法等に関する課題への対応を検討
- 生活時間を取りまく最近の動向や新たな視点を外部有識者より幅広く聴取しつつ、検討